



元気っ子

No.249 ながさわ保育園

平成 30 年 5 月号

園 長 市 川 温 予

日に日に新緑が美しい季節になってきました。

園庭の木々や茶畑の緑がとってもきれいで見ているだけで心がゆっくりします。

新年度がスタートして、はや一ヶ月が経ちました。新しく入園したお友だちはお家の方と離れ、保育園というはじめての集団生活に涙する子や不安でいっぱい先生のお手をぎゅっと持って離れない子、かばんをかけたままお部屋にいる子などいろいろな姿が見られましたが少しずつ涙することも少なくなり、先生やお友だちと一緒に過ごせるようになってきました。子どもの力は無限で少しずつ自分で気持ちを切り替えて我慢をしたり、周りのお友だちの遊んでいる様子をじっと見ていたり、気の合う友だちと一緒に絵本を見たり、ままごとをしたりして自分の落ち着く場所を見つけ出しています。先生達もそんな一人ひとりの姿を大切に子ども達の思いを受け止めるように保育をしています。

子どもにとっては戸外が一番！

お天気の良い日は散歩に出かけたり、園庭で伸び伸びと遊んでいます。子ども達の様子を見てると一人ひとりがいい表情をしています。砂場でプリンを作ったり、滑り台の上で友達と楽しそうに笑い合ったり、ダンゴムシやアリを見つけ、カップにいっぱい入れている子、新しいお友だちの手を繋いで園庭を歩いている子と、様々な姿が見られます。新入児も戸外に出ると心が解放されるのか笑顔がいっぱいです。保育園の周りは本当にいい環境に恵まれ、子ども達にとっても大人にとっても五感が刺激され、心が豊かになっていくのだと思います。お散歩に行って、カニやカエルを見つけみんなで観察したり、お友だちが触っているのを見て刺激を受け、触れるようになった子もいます。また、草花を摘んで花束にしてみたり、先日、くぬぎ組がお部屋のテーブルにお散歩で摘んできた可愛いお花を小さなカップに入れて飾っていました。給食の時に子ども達の様子を見に行ったら、「このお花、お散歩でとってきた（摘んできた）よ。」と教えてくれました。こうやって自然の中で自分達で摘んできたお花を飾ること、とてもいいことだと思いました。くぬぎ組のお部屋には優しい空気が流れていました。私は子ども達一人ひとりがクラスの中に居場所があり、心が安定し、自己発揮できるようになること、そしてみんなが仲良くあったかい優しい生活空間を創っていくことの大切さをいつも感じています。

保育園は生活と遊びの場です。遊びが子ども達に与える影響は本当に大きく遊びの体験の積み重ねが一番大事です。毎日の遊びの中でいろんなことを繰り返し行うことで体験、体得は自然に積み重ねられ、できることが増えていきます。

これから戸外で思いっきり身体を動かし、エネルギーを発散できるような、そして子ども達が夢中になって遊べる環境づくりをしていきたいと思っています。

子ども時代を子どもらしく、自然の中で伸び伸びと、ゆっくり、ゆっくり育てていきましょう。